※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家庭総合　自立・共生・創造（東京書籍）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう

・生活の様々な現象や課題を様々な事例やDVD視聴等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。他者の意見を聞き、多様な考え方を学び、自分の考えに繋げましょう。

・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

２　学習の到達目標

〇人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活に関する知識や技能を習得し、家庭や地域の生活の中から問題を見出して、課題を解決し、より良い生活に向けて主体的に行動する実践力を育む。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する、生活を主体的に営むための基礎的な知識を習得するとともに、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出してそれぞれのライフスタイルに合わせた課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自分らしい生き方と家族	○家庭科の学び方 ○人生を展望しよう ・自分の生活をみつめる ・人の一生と発達課題 ・青年期の自立と生涯を見通した生き方 ・主体的な人生のための意思決定 ○家族・家庭をみつめよう ＊サイレントオークション ○家庭生活と社会について考えよう	a:生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識とサイレントオークション等を通して、家族や家庭について検討する技術を身に付けている。 b:青年期にある自分を見つめ、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:青年期の生き方や家庭を気づくことに関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・定期考査 ・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答 ・提出作品	・定期考査 ・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答	・授業観察 ・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答
	子どもとかかわる	○子どもの成長・発達について知ろう ・子どもをみつめる ・新生児期・乳児期の成長・発達の特徴 ・小学校低学年の子どもの成長・発達の特徴 ○子どもの生活について知ろう ・子どもの生活と保育 ・子どもの遊びと児童文化 ＊児童文化財の制作 ・子どもの病気や心の問題と安全 ・子どもの保育環境 ○親になることを考えよう ○子どもの人権と福祉について考えよう	a: 子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識と子どもと適切に関わることができたり子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 b:子どもの誕生や成長過程のＤＶＤを視聴し、感想文で自分の考えを表現している。 c:子どもの発達や特徴などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。			

※令和４年度以降入学生用

2学期	住生活をつくる	○住生活をみつめよう ・なぜ住まうのか ・住生活の成り立ちと住文化 ・現代の住生活 ○健康で安全な住生活を作ろう ・住まいと健康 ・住まいと安全 ＊紙教材紙ぶるるを使った耐震実験 ・住まいの管理 ○家族の生活と住空間を考えよう ・家族と住空間 ・住空間の計画 ○これからの生活を考えよう ・環境に配慮した住まいかた ・これからの住生活	a: 住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識と安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 b:住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c: 住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	・定期考査 ・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答 ・提出作品	・定期考査 ・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答	**・授業観察** **・授業中のワークシート** **・授業中の質疑応答**
3学期	高齢者とかかわる	○高齢者の生活をみつめよう ・生涯発達と高齢期 ・高齢期の心身の特徴と生活 ・高齢期の生活設計と生活の課題 ○高齢者の福祉について考えてみよう ・日本の高齢者の原状と高齢者福祉 ・高齢者を取り巻く社会制度 ・要介護の高齢者の自立生活への支援 ○高齢者とともに生きる社会をめざして ・高齢者の社会的役割と世代間交流 ・高齢者の支援と福祉社会	a: :高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識と高齢者と適切に関わることができたり高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。 b:高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	・定期考査 ・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答	・定期考査 ・授業中のワークシート ・授業中の質疑応答	**・授業観察** **・授業中のワークシート** **・授業中の質疑応答**

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。